



## 2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ボルテージ  
コード番号 3639 URL <https://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 経財本部長 (氏名) 柴山 大輔

TEL 03-5475-8141

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,280	19.9	49		46		20	
2022年6月期第3四半期	4,096		344		308		420	

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 43百万円 ( %) 2022年6月期第3四半期 406百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	3.27	
2022年6月期第3四半期	65.53	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年6月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっておりますが、2021年6月期第3四半期に係る各数値については遡及適用を行っておりませんので、2022年6月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年6月期第3四半期	2,971		2,146		72.0
2022年6月期	3,060		2,189		71.3

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 2,139百万円 2022年6月期 2,183百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期の期末配当予想は未定としております。

### 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

2023年6月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想数値の算定が困難であることから記載しておりません。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Voltage Entertainment USA, Inc.

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	6,513,675 株	2022年6月期	6,513,675 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	91,581 株	2022年6月期	91,581 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	6,422,094 株	2022年6月期3Q	6,422,094 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しております。実質総雇用者所得は弱含んでおり、消費者マインドは下げ止まっております。企業収益は、総じてみれば改善しておりますが、そのテンポは緩やかになっております。

当社グループにおきましては、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」「電子コミック・コンシューマ」の4区分で事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における売上は、「電子コミック・コンシューマ」が増加したものの、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」が減少し、3,280,488千円（前年同期比19.9%減）となりました。費用は、売上減少による販売手数料の減少、広告宣伝費の減少、Voltage Entertainment USA, Inc.の解散に伴う従業員の退職等による給与及び法定福利費の減少、業務委託費用、派遣費用及び制作費等の減少による外注費の減少及びオフィス減床による賃借料の減少等により、全体として大幅に減少しました。その結果、営業損失は49,426千円（前年同期は営業損失344,597千円）、経常損失は46,106千円（同 経常損失308,047千円）となり、また、特別利益に係る会社清算益27,657千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は20,974千円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失420,820千円）とそれぞれ赤字縮小となりました。

事業区分別の主要タイトル、その略称及び経営成績は、以下のとおりであります。

事業区分	分類	主要タイトル	略称
日本語女性向け	読み物型 (注1)	100シーンの恋+	100恋+
	アバター型 (注2)	天下統一恋の乱 Love Ballad 誓いのキスは突然に Love Ring 眠らぬ街のシンデレラ 鏡の中のプリンセス Love Palace 新◆王子様のプロポーズ Eternal Kiss 魔界王子と魅惑のナイトメア 幕末維新 天翔ける恋	恋乱 誓い シンデ ミラプリ 王子 魔界 幕天
	カード型 (注3)	あやかし恋廻り アニドルカラース	あや恋 アニドル
	ファンダム (注4)	ボルSHOP	—
英語・アジア女性向け	読み物型	Love365: Find Your Story (注5)	Love365
男性向け	カード型	六本木サディスティックナイト	六本木
電子コミック・コンシューマ	電子コミック	(ストア)ぼるコミ (レーベル)ボル恋comic	— VCレーベル
	コンシューマ	Nintendo Switch向け「眠らぬ街のシンデレラ」 Steam向け「今宵、妖しい口づけを」「恋してしまった星の王子」	— —

#### ①日本語女性向け

日本語女性向けは、「読み物型」「アバター型」「カード型」「ファンダム」に分類して展開しております。主に「アバター型」「読み物型」が減少し、売上高は2,090,474千円（前年同期比19.9%減）となりました。

#### ②英語・アジア女性向け

主に「Love365」の減少及び、Voltage Entertainment USA, Inc.の解散及び清算をしたことによるタイトル減少により、売上高は371,469千円（前年同期比45.5%減）となりました。

#### ③男性向け

主に「六本木」が減少したことにより、売上高は640,141千円（前年同期比8.8%減）となりました。

④電子コミック・コンシューマ

電子コミック・コンシューマは電子コミック（ぼるコミ、VCレーベル）及びコンシューマ（Nintendo Switch向けコンテンツ、Steam向けコンテンツ）が該当します。

主にぼるコミ、Nintendo Switch向けコンテンツが増加したことにより、売上高は178,402千円（前年同期比73.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,971,330千円（前連結会計年度末比88,695千円減）となりました。

流動資産は、2,143,603千円（同146,125千円減）となりました。その主な要因は、売掛金の減少127,316千円によるものであります。

固定資産は、827,726千円（同57,429千円増）となりました。その主な要因は、投資有価証券取得による投資その他の資産の増加53,238千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、825,277千円（同44,985千円減）となりました。

流動負債は、713,171千円（同44,298千円減）となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加93,144千円があった一方で、未払費用の減少72,805千円及び買掛金の減少57,971千円があったことによるものであります。

固定負債は、112,105千円（同686千円減）となりました。その要因は、繰延税金負債の増加2,310千円があった一方で、長期借入金の減少2,997千円があったことによるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,146,052千円（同43,710千円減）となりました。その主な要因は、米国子会社Voltage Entertainment USA, Inc. の清算による為替換算調整勘定の減少27,968千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少20,974千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年6月期より、市場動向を鑑みて戦略を軌道修正し、2025年6月期頃にアプリと新分野（電子コミック・コンシューマ）での「事業3本柱」を成立させるべく経営を進めております。日女アプリはファンダムの充実また形態を進化させ採算性の向上を図る「ファンダム戦略」、新分野は投資の第2フェーズとして拡大と強力IP（注6）創出に向けた「ヒットIP戦略」を推進中です。

当第3四半期連結会計期間は、アプリ事業において主要タイトルの周年施策による盛り上げや、5月より開催する大型リアルイベント「ボルフェス」に向けた準備を実施。新分野において「ボル恋comic」の販売ストア開拓、Nintendo Switch向け新規タイトルの開発及びPCゲームプラットフォーム「Steam」への移植タイトル展開の開始等を実施いたしました。

なお、業績予想については、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難であるため、非開示といたします。

- (注) 1. 読み物型：ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。  
2. アバター型：ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。  
3. カード型：カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。  
4. ファンダム：作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。  
5. Love365: Find Your Story：日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳した海外市場向けコンテンツであり、1つのアプリ内で複数のタイトルが楽しめる「読み物アプリ」。  
6. IP: Intellectual Property (知的財産)。当社オリジナルのタイトル1つ1つを指す。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,473,158	1,531,268
売掛金	591,043	463,727
商品	30,511	37,469
前払費用	25,528	29,715
預け金	116,890	80,354
その他	52,665	1,137
貸倒引当金	△68	△68
流動資産合計	2,289,729	2,143,603
固定資産		
有形固定資産	20,489	15,041
無形固定資産		
ソフトウェア	45,634	55,615
コンテンツ	2,079	1,736
無形固定資産合計	47,714	57,352
投資その他の資産		
投資有価証券	321,884	377,158
その他	380,209	378,174
投資その他の資産合計	702,094	755,332
固定資産合計	770,297	827,726
資産合計	3,060,026	2,971,330
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	144,646	86,674
未払金	3,741	4,965
未払費用	309,857	237,051
契約負債	206,867	238,790
未払法人税等	6,065	543
預り金	38,854	9,621
短期借入金	30,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	3,996	3,996
賞与引当金	—	93,144
その他	13,442	23,383
流動負債合計	757,470	713,171
固定負債		
長期借入金	109,677	106,680
繰延税金負債	3,115	5,425
固定負債合計	112,792	112,105
負債合計	870,263	825,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,714	1,250,714
資本剰余金	1,216,314	1,216,314
利益剰余金	△218,818	△239,793
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	2,147,988	2,127,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,057	12,290
為替換算調整勘定	27,968	—
その他の包括利益累計額合計	35,026	12,290
新株予約権	6,748	6,748
純資産合計	2,189,763	2,146,052
負債純資産合計	3,060,026	2,971,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,096,021	3,280,488
売上原価	1,703,346	1,390,447
売上総利益	2,392,674	1,890,040
販売費及び一般管理費	2,737,271	1,939,466
営業損失(△)	△344,597	△49,426
営業外収益		
受取利息	2,521	2,147
受取配当金	513	2,224
為替差益	27,381	—
投資有価証券売却益	261	87
不動産賃貸料	6,919	6,605
助成金収入	—	500
固定資産売却益	663	—
雑収入	2,365	2,544
営業外収益合計	40,626	14,110
営業外費用		
支払利息	948	937
為替差損	—	6,031
不動産賃貸費用	3,022	3,155
雑損失	106	666
営業外費用合計	4,076	10,790
経常損失(△)	△308,047	△46,106
特別利益		
関係会社清算益	—	27,657
特別利益合計	—	27,657
特別損失		
減損損失	15,104	—
関係会社整理損	83,657	—
関係会社整理損失引当金繰入額	1,968	—
特別損失合計	100,730	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△408,778	△18,449
法人税、住民税及び事業税	2,540	2,525
法人税等調整額	9,501	—
法人税等合計	12,042	2,525
四半期純損失(△)	△420,820	△20,974
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△420,820	△20,974

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失(△)	△420,820	△20,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,574	5,233
為替換算調整勘定	5,127	△27,968
その他の包括利益合計	14,701	△22,735
四半期包括利益	△406,119	△43,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△406,119	△43,710



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社連結子会社であった株式会社ボルテージVRの清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社であったVoltage Entertainment USA, Inc.の清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。ただし、清算までの期間に係る損益につきましては、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。